

あ ゆ み

- 昭和58年 8月24日 東京都板橋区立小豆沢体育館会議室にて、日本家庭婦人バドミントン連盟設立。
- (1983年) 総会開催。会長 渡辺秀央氏、理事長 玉手庸氏選出。規約審議、負担金、クラブ登録費設定。
「第1回全日本家庭婦人バドミントン大会都道府県対抗」を開催。
- 59年 「第2回全日本家庭婦人バドミントン競技大会」開催。都道府県対抗、クラブ対抗（未経験者）の2団体戦となる。役員、評議員の補充承認。
- 60年 「第3回全日本家庭婦人バドミントン競技大会」を5月3日「国際スポーツフェア85」の協力事業として、都道府県対抗 国立競技場代々木体育館、クラブ対抗 台東リバーサイドスポーツセンターにて開催。財団法人日本バドミントン協会よりの補助金交付決定。
- 61年 7月 会長 渡辺秀央氏 官房副長官に就任。連盟事務局を東京都千代田区三番町12番地に置く。
- 62年 第5回大会を京都府長岡京市で開催し、主管地をブロック持ち回りとする。
- 63年 8月11日～13日 第6回大会を東京都立川市にて開催。創立5周年記念行事を実施し、功労賞表彰を行う。規約一部改正。
- 平成元年 8月 第7回大会、総会を大阪府大阪市にて開催。役員改選。
副会長 玉手庸氏、理事長 根岸知子氏就任。
- 2年 クラブ対抗出場者の資格審査を各都道府県で厳重確認要請。副会長 玉手庸氏 勲五等瑞宝章受章。
- 3年 11月 会長 渡辺秀央氏 郵政大臣就任に伴い会長辞任、名誉会長就任。
規約一部改正。大会参加資格一部変更。役員改選。
- 4年 会長 戸田清一氏、副会長 木本由孝氏、嶋久雄氏就任。都道府県対抗の45才以上を50才以上に変更。
バドミントンがオリンピックの正式種目となる（バルセロナ）。
- 5年 8月 第11回大会を東京で開催。総会及び10周年記念式典をホテルグランドパレスにて実施。
感謝状、功労賞表彰を行う。会長 戸田清一氏より優勝カップ寄贈。
- 6年 第1回東日本家庭婦人バドミントン大会（東京都連盟主管）、第21回西日本家庭婦人バドミントン大会（大阪府連盟主管）開催。規約一部改正。
- 7年 阪神淡路大震災。兵庫県連盟、協賛会社ダイエー罹災。規約一部改正。
- 8年 総会を8月から5月実施に変更。
- 9年 副会長 玉手庸氏辞任、顧問就任。副会長 浅岡武氏就任。
- 10年 副会長 浅岡武氏 藍綬褒章受章。規約一部改正。
- 11年 会長 戸田清一氏辞任、顧問就任。会長 清水務氏就任。副理事長 針谷和子氏辞任。
副理事長 竹内ヒロ子氏就任。
- 12年 「日本レディースバドミントン連盟」に改称。大会名称「全日本レディースバドミントン選手権大会」とする。理事長 根岸知子氏辞任、副会長就任。理事長 村井広美氏就任。
事務局 大阪府八尾市福万寺町南2-43-18 へ移転。規約一部改正。
- 13年 賛助金制度導入。根岸知子氏 財団法人日本バドミントン協会より功労賞受賞。
副会長 嶋久雄氏辞任。副会長 藤田庸右氏就任。副理事長 上田光代氏就任。
- 14年 広報誌「日本レディースバドミントン連盟だより」Vol.1 発刊。創立20周年実行委員会設立。
- 15年 7月第21回記念大会を東京都で開催、創立20周年記念式典を京王プラザホテルで実施、感謝状、功労賞表彰を行う。
- 16年 副会長 根岸知子氏 文部科学大臣賞受賞。
- 17年 副会長 藤田庸右氏 文部科学大臣賞受賞。
- 18年 東西大会を統一し、第1回全日本レディースバドミントン競技大会（個人戦）を開催。
- 19年 会長 清水務氏辞任、特別顧問就任。会長 藤田庸右氏就任。
副理事長 上田光代氏辞任。副理事長 白井カズ子氏就任。
副会長 浅岡武氏 旭日双光章受章。
- 21年 副理事長 民谷千寿子氏就任。
世界バドミントン連盟（BWF）公認「ヨネックス杯 国際親善レディースバドミントン大会 2009」（大阪府連盟主管）を、財団法人日本バドミントン協会と共催開催。